

大学自己評価部会だより

第16号 (平成22年3月)

大学の理念

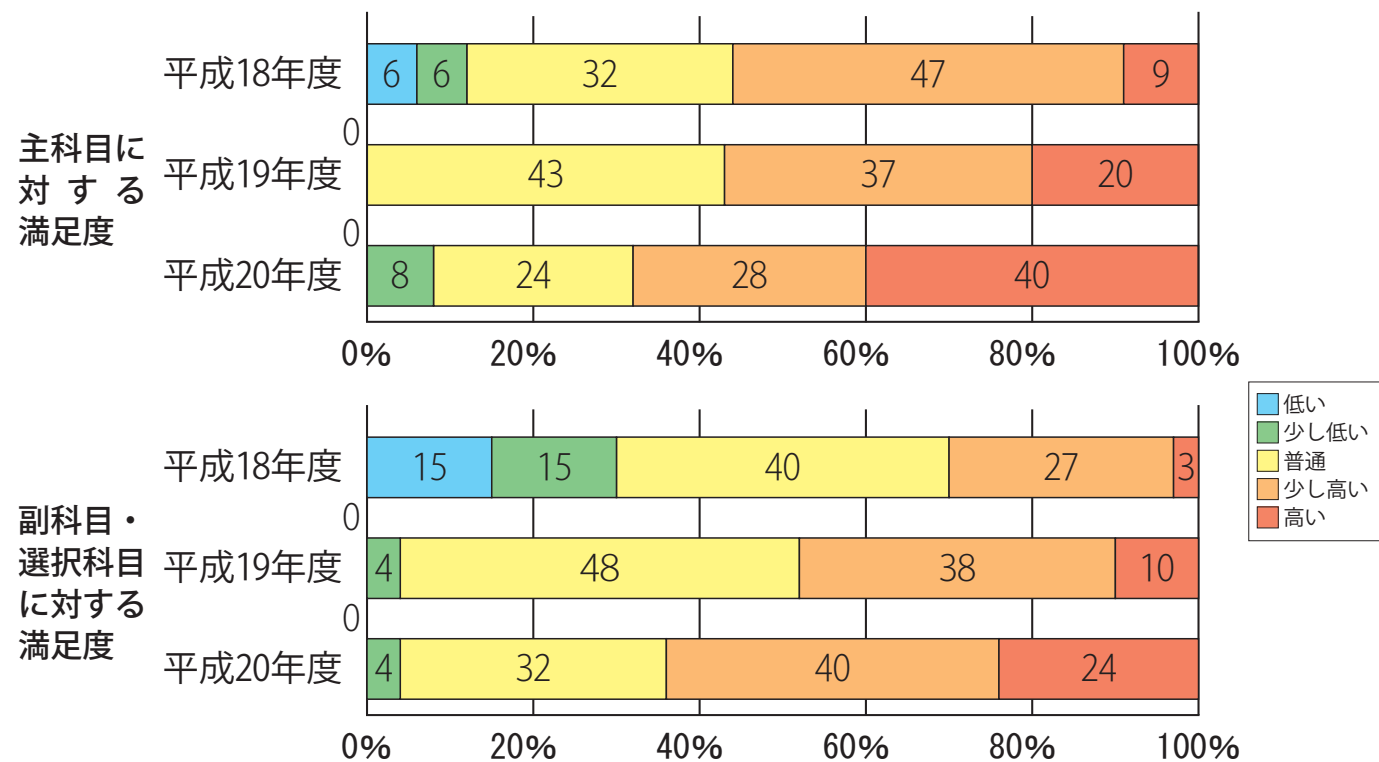
1. 高度な専門性を持った歯科医療人の育成
2. 地域医療の中核的役割を果たす
3. 歯科医学を支える研究の推進

アンケート調査結果を報告

大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成18年度・平成19年度・平成20年度の3年間を比較しました。

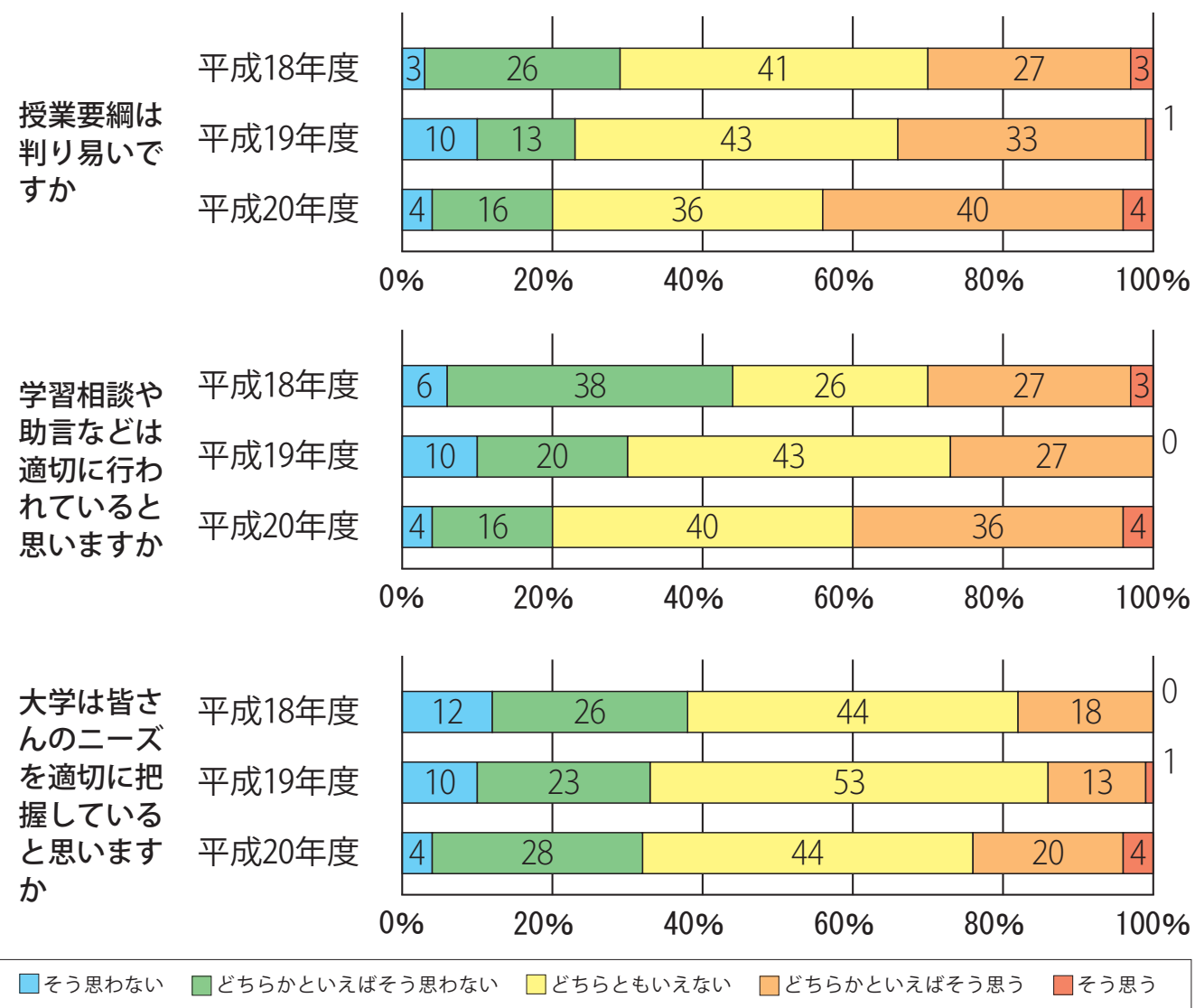
1) 主科目および副科目・選択科目に対する満足度

大学院では、平成19年度より副科目・選択科目の授業要綱を作成し、講義の充実を図ってきました。調査の結果、主科目、副科目・選択科目ともに満足度が増加していることが判りました。



2) 授業要綱や研究に関する相談などについて

授業要綱(シラバス)が判り易くなったという人は増加していますが、まだ改善の余地があるようです。学習相談(研究に関する相談)や助言などが適切に行われているか、あるいは大学院生のニーズを大学が把握しているかということについては、余り変動が認められませんでした。



3) 研究指導に対する満足度

研究指導に対する満足度は3年間で、徐々に高くなってきています。一方で、まったく満足していない人の割合も増加しています。

